

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-298337
 (43)Date of publication of application : 12.11.1993

(51)Int.Cl. G06F 15/21

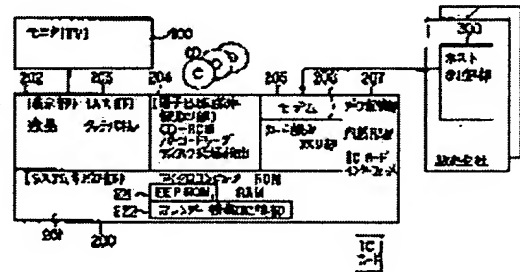
(21)Application number : 04-104422 (71)Applicant : TOSHIBA CORP
 TOSHIBA AVE CORP
 (22)Date of filing : 23.04.1992 (72)Inventor : MIMURA HIDENORI
 OMURA HISASHI
 HIRABAYASHI MASAHIRO
 TAIRA KAZUHIKO

(54) CATALOGUE SHOPPING SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To obtain a flexible system easily correcting the contents (prices, selling periods, etc.) of a catalogue.

CONSTITUTION: A terminal body 200 is provided with a system control part 201, and when required commodity genre, price, paying method, etc., are inputted from an input part 203, an electronic publishing medium such as a CD-ROM storing catalogue information is accessed and a corresponding commodity is displayed on a display part 202. When purchase requesting operation is executed while observing the displayed commodity, ordering information is transmitted to a selling company through a MODEM 205 and a telephone line and a host control part 300 executes the information processing of selling success or failure. A system control part 201 is provided with a rewritable storage part 221, and when a part of the contents of the CD-ROM or the like is changed, changing data (a program, a price, validity term information, etc.) are requested to the control part 300 and commodity purchasing data processing is executed by using an up-to-date program, up-to-date data, and so on.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision
of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平5-298337

(43) 公開日 平成5年(1993)11月12日

(51) Int. Cl. ⁵

G06F 15/21

識別記号

330

庁内整理番号

7218-5L

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数9 (全9頁)

(21) 出願番号 特願平4-104422

(22) 出願日 平成4年(1992)4月23日

(71) 出願人 000003078

株式会社東芝

神奈川県川崎市幸区堀川町72番地

(71) 出願人 000221029

東芝エー・ブイ・イー株式会社

東京都港区新橋3丁目3番9号

(72) 発明者 三村 英紀

神奈川県横浜市磯子区新杉田町8番地 株

式会社東芝映像メディア技術研究所内

(72) 発明者 大村 久

神奈川県横浜市磯子区新杉田町8番地 株

式会社東芝映像メディア技術研究所内

(74) 代理人 弁理士 鈴江 武彦

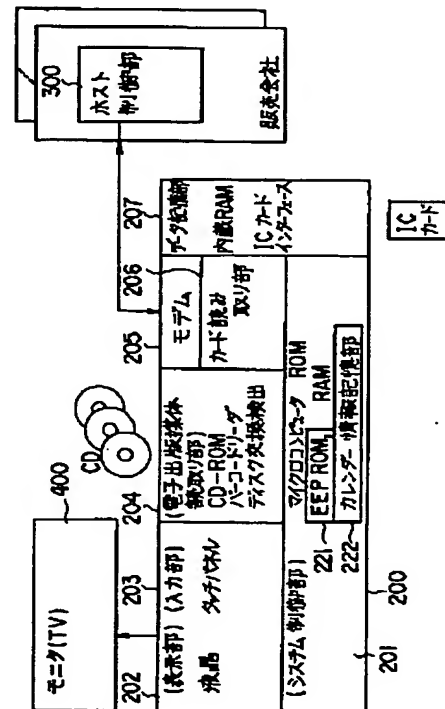
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 カタログショッピングシステム

(57) 【要約】 (修正有)

【目的】 カタログの内容（価格、販売期間等）の修正が便利で、融通性があるシステムを得る。

【構成】 端末本体200には、システム制御部201が設けられる。入力部203から希望商品ジャンル、価格、支払い方法等を入力すると、カタログ情報を格納しているCD-ROM等電子出版媒体がアクセスされ、該当する商品が表示部202に表示される。表示された商品を見て購入希望操作を行うと、モデム205及び電話回線を通じて販売会社へ発注情報が伝送され、ホスト制御部300で販売成立、不成立の情報処理が行われる。システム制御部201は、書き換え可能な記憶部221を備えており、CD-ROM等の内容の一部に変更が生じたような場合、変更データ（プログラム、価格、有効期間情報等）をホスト制御部300に要求し、最新プログラムや最新データ等を用いて商品購入データ処理を行う。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ユーザの端末に、カタログ情報を格納した電子出版媒体を駆動するアクセス装置と、プログラムデータ及び処理データ等を格納した記憶手段と、

前記電子出版媒体アクセス装置等を動作させるための操作入力を与えるための操作入力部と、

前記電子出版媒体の発行元である販売会社のホスト制御部へ回線を通じてデータを伝送し、また前記ホスト制御部から前記回線を通じて送られてくるデータを取り込む通信手段と、

前記操作入力部からの操作入力及び前記通信手段からの取り込み信号に応答して、前記記憶手段からプログラムデータを読み出し、このプログラムデータによる手順に従って、前記電子出版媒体アクセス装置、前記記憶手段及び前記通信手段を制御するとともに表示部の表示内容をも制御するシステム制御部と、

前記記憶手段内に設定され、前記プログラムデータとして、固定プログラムのデータを格納するための第 1 の格納部、及び前記電子出版媒体のデータ処理もしくはデータ処理の一部を変更することができる最新プログラムデータや前記処理データを格納するためのデータ書換え可能な第 2 の格納部と、

前記通信手段から前記最新プログラムデータもしくは処理データが伝送されてきたときにこれを取り込み前記第 2 の格納部に格納するデータ変更手段とを具備したことを特徴とするカタログショッピングシステム。

【請求項 2】 前記通信手段と前記システム制御部は、システムの電源投入時に前記電子出版媒体の販売会社の前記ホスト制御部との回線接続を行い、前記電子出版媒体に関する最新プログラムデータあるいは処理データの変更があるか否かを判定する判定手段と、この判定手段が前記変更があったことを判定したときに前記データ変更手段を動作させる手段とを備えたことを特徴とする請求項 1 記載のカタログショッピングシステム。

【請求項 3】 前記通信手段及びシステム制御部は、前記販売会社のホスト制御部へ選択した商品の購入希望情報を伝送する手段と、

前記販売会社のホスト制御部から伝送されてくる前記商品の納期情報あるいは配達情報を取り込み、これに対応する納期及び配達日時を前記表示部に表示させる手段と、

前記入力部の操作に応じて前記購入希望情報の確認またはキャンセル情報を再度前記販売会社のホスト制御部へ伝送する手段とを有することを特徴とする請求項 1 記載のカタログショッピングシステム。

【請求項 4】 前記システム制御部に制御される手段として、

さらにバックアップ電源付きのカレンダー情報記憶部を

有したことを特徴とする請求項 1 記載のカタログショッピングシステム。

【請求項 5】 前記電子出版媒体のデータとしては、複数の商品に関するカタログデータが格納されており、前記第 2 の格納部には前記複数の商品に関するバーゲンセール期間情報及びセール価格情報が格納されており、前記システム制御部には、前記複数の商品に関するバーゲンセール期間情報と前記カレンダー情報記憶部の期間情報とを比較し、バーゲンセール期間内である場合のみ、前記セール価格情報を対応する商品のデータに付随させる手段が設けられていることを特徴とする請求項 4 記載のカタログショッピングシステム。

【請求項 6】 前記第 2 の格納部には、最新電子出版媒体に関する第 1 の ID 情報及びその有効期限情報が格納されており、前記電子出版媒体には第 2 の ID 情報が記録されており、

前記通信手段と前記システム制御部は、前記第 1 と第 2 の ID 情報の比較を行い一致不一致を判定する手段と、一致した場合に、前記有効期限情報と前記カレンダー情報とを比較して期限の有効、非有効を判定する手段と、前記第 1 及び第 2 の ID 情報が不一致の場合及び前記期限が非有効の場合には、前記第 1 の ID 情報を前記通信手段を介して前記販売会社のホスト制御部へ伝送する手段を含むことを特徴とする請求項 1 記載のカタログショッピングシステム。

【請求項 7】 前記システム制御手段は、前記期限が非有効と判定した場合には、前記有効期限情報を消去する手段を含むことを特徴とする請求項 6 記載のカタログショッピングシステム。

【請求項 8】 クレジットカード会社発行または銀行発行のカード読取り装置をさらに備えたことを特徴とする請求項 1 記載のカタログショッピングシステム。

【請求項 9】 システム制御手段は、前記電子出版媒体アクセス装置に装填された電子出版媒体に記録されている使用可能なカード情報を前記表示部に表示し、前記カード読取り装置へのカード誤挿入を防止する手段を備えたことを特徴とする請求項 8 記載のカタログショッピングシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 この発明は、CD-ROM等の電子出版媒体をカタログとして利用するカタログショッピングシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】 従来のカタログショッピング方法では、販売会社とユーザが契約を結ぶと、販売会社からユーザへ書籍形態のカタログが配布される。ユーザは、カタログを見て希望の商品を選択し、例えばその商品番号を販売会社へ電話あるいは郵便等の手段で通知する。すると、販売会社から商品が送られてくる。その後、または

商品番号の通知と同時に、ユーザは銀行口座による自動引き落とし、あるいは振り込みにより代金の納付を行っている。

【0003】また、最近では、パソコン通信を利用して発注を行う方法も存在する。この方法は、電話回線によりパソコン通信により一般のNET局（例：PC-VAN、NIFTYサーブ）をアクセスし、発注専用のフォーラムに移動し、ホストから販売している商品の情報（カタログに書かれているものと同じ）を画面に表示し、そのデータに従って、希望の商品を選択する方法である。支払は、予めセットされたクレジットカードで行うことになる。その他の、ショッピング方法としては、ファクシミリを利用して発注を行う方法もある。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】上記した従来のカタログショッピング方法においては、以下のような問題が指摘される。

【0005】特に、カタログの内容が変更になったりすると、古いカタログを見て希望の商品を注文しても品切れになっていたたり、納期が遅れ希望の日時に入手できなかったりすることがある。また注文のミスを生じたりすることがある。

【0006】さらにカタログによる販売方式であると、カタログの価格表示の修正を即座にできないために、バーゲンセールのような期間を設定しにくいという問題もある。また、クレジットカードを利用して銀行口座から引き落としを希望する場合、自己の所有するクレジットカードがその販売会社に有効であるかどうかを勘違いして注文ミスすることがある。

【0007】その他、ユーザの希望の商品ジャンル、予算等に応じてユーザ自身がカタログを詳細に検索している。このために、予算と希望の商品をマッチングさせるのに手間取ったり、見落としを生じたりする。カタログも非常に分厚いものとなり、持ち運びに不便である。

【0008】また、カタログショッピングでは、即座に現金を必要とせず、上記のように自動引き落とし等で買い物ができ、しかも一時払い、月々による分割払い等の支払い形態を選択することができる。このために、複数の商品を購入した場合、あるいは無闇に商品を購入した場合等、ユーザの月々の支払い能力を越えてしまい、いわゆる「カード破産」を生じる人が多くなっている。

【0009】そこでこの発明は、カタログの内容（価格、販売期間等）の修正が便利で、融通性があること、納品期日や入手期日を知ることが容易であること、発注者が利用するカードと販売会社を取り扱うカードとの種類の対比が確実であり注文ミスを生じないこと、加えて希望商品の確実で迅速なサーチが可能であり、カタログ媒体の保管、取り扱いが便利であること、ユーザの会計管理も可能であることを等を実現できるカタログショッピングシステムを提供することを目的とする。

【0010】

【課題を解決するための手段】この発明は、基本的に、ユーザの端末に、カタログ情報を格納した電子出版媒体を駆動するアクセス装置と、プログラムデータ及び処理データ等を格納した記憶手段と、前記電子出版媒体アクセス装置等を動作させるための操作入力を与えるための操作入力部と、前記電子出版媒体の発行元である販売会社のホスト制御部へ回線を通じてデータを伝送し、また前記ホスト制御部から前記回線を通じて送られてくるデータを取り込む通信手段と、前記操作入力部からの操作入力及び前記通信手段からの取り込み信号に応答して、前記記憶手段からプログラムデータを読み出し、このプログラムデータによる手順に従って、前記電子出版媒体アクセス装置、前記記憶手段及び前記通信手段を制御するとともに表示部の表示内容をも制御するシステム制御部と、前記記憶手段内に設定され、前記プログラムデータとして、固定プログラムのデータを格納するための第1の格納部、及び前記電子出版媒体のデータ処理を変更することができる最新プログラムデータや前記処理データを格納するためにデータ書換え可能な第2の格納部と、前記前記通信手段から前記最新プログラムデータもしくは処理データが伝送されてきたときにこれを取り込み前記第2の格納部に格納するデータ変更手段とを備える。

【0011】

【作用】上記の手段により、第2の格納部は、電子出版媒体の一部情報の変更やデータ処理手順の変更を行う場合に利用され、しかも通信手段を介して販売会社のホスト制御部からその変更情報を受けとることができ、この機能の種々の利用形態が可能となる。

【0012】

【実施例】以下、この発明の実施例を図面を参照して説明する。

【0013】図1は、カタログショッピングシステムのユーザ側端末の基本構成を示している。200は端末本体であり、変調及び復調手段を含むモデム220が設けられ、電話回線を通じて各種の販売会社のホスト制御部300との交信を行うことができる。端末本体200内部には、システムを制御するためのシステム制御部201、表示部202、入力部203、電子出版媒体アクセス部204、変調及び復調手段を含むモデム205、カード読み取り部206、データ記憶部207が設けられている。モデム204は、電話回線を通じて各種の販売会社のホスト制御部300と接続され、ユーザ側端末と販売会社のホスト制御部300との交信を実現させることができる。

【0014】表示部202は、電子カタログの内容あるいは操作ガイド、グラフィック表示等を行うもので、例えば液晶表示装置が利用されている。入力部203は、液晶表示装置の前面に例えばタッチパネルを配置すること

により実現されており、表示内容とタッチスイッチ入力部が対応するようにシステム制御部201により制御される。電子出版媒体アクセス部204は、例えばCD-ROMをアクセスする部分であり、CD-ROMは、カタログ情報を格納しており販売会社から送られてきたもので、商品、その商品コード、価格等の情報が含まれている。電子出版媒体アクセス部204には、CDに貼られたバーコード情報を読み取るための媒体識別手段が設けられている。また、ディスク交換を検出するディスク交換検出手段も設けられ、システム制御部201へ割り込み信号を与えるようになっている。モデム205は、電話回線を通じて販売会社のホスト制御部300と接続状態を得るが、必要に応じてシステム制御部201からの指定により、指定に応じて販売会社のホスト制御部と接続され、データの送受信を行うことができる。

【0015】入力部203でユーザが商品購入の指定を行ったときに、例えば表示部202にカード挿入を要求する表示が行われる。ユーザは自己の所有するクレジットカードあるいは銀行口座のカードもしくはプリペイドカードをカード読み取り部206に挿入する。するとカード読み取り部206はカード情報を読み取り、その情報をモデム205を通じて販売会社のホスト制御部300へ伝送される。販売会社は、そのカード情報をチェックして、銀行引き落としが可能であるかどうかを判定し、販売成立または不成立の結果である情報等を返送する。

【0016】システム制御部201には、マイコン、固定のシステムプログラムがある他に、特に書き込み読み出し可能な内蔵の記憶部221が設けられている。この記憶部221は、電子カタログ情報の処理プログラムや処理データ等を変更する必要があるときに利用される。システム制御部201は、マイコン、ROM、RAM、EEPROM等を有し、書換え不可能なROM、書換え可能EEPROMに内蔵されたマイコンプログラムにより動作が規定される。ROMには、CD-ROMから最初に必要なデータ（共通ヘッダ部）を読み出し、実際のカタログショッピングを行うプログラムを起動するプログラムが格納されている。またEEPROM（記憶部221）の内容を変更するかどうかのプログラムも格納されている。

【0017】電子カタログ情報の処理プログラムを変更する必要があるケースとしては、例えば、プログラム自身にバグがあり変更が必要な場合、あるいは内容の追加、商品項目の削減、さらには増加された新たなCD-ROMが発売され、自己の所有するCD-ROMのプログラムやデータでは、現在販売されている商品をすべて検索できない場合、あるいは、価格の変更が生じた場合のように必要なデータを変更する等がある。このように、このシステムにおいては、CD-ROMに関する固定の情報と、変動する情報とを扱うことができ、しかも変動情報は、自動的に最適のものに切り替えられるよう

になっている。

【0018】カレンダー情報記憶部222は、電源バックアップされたカレンダー用ICにより構成される。このカレンダー情報記憶部222のカレンダー情報を用いて、システム制御部201は、上記記憶部221における情報の保存期間、削除期日等の管理をすることができる。

【0019】データ記憶部207は、内蔵のRAMと着脱可能なICカードのデータ読取り部を有する。このデータ記憶部207は、システム制御部201の内蔵の記憶部と異なり、むしろ個人の情報管理のために利用される。この記憶部207は、カード読取り部206で読取られるカードのカード会社名、購入金額、分割支払い情報等を格納することができる。このように、クレジットカードの使用状況を管理しておくことにより、個人会計管理情報として利用することができる。例えば、複数のクレジットカードを有するユーザは、いずれのカードを何の商品購入に使用したのか、現在の月払い金額は総額でいくらになるのか、さらにはいずれの銀行口座にいくら振り込む必要があるか等の情報を記憶させておくことができる。そしてこれらの情報を、システム制御部201のプログラムにより読み出し、表示部202に表示して確認することもできる。また、これらの情報を個人のICカードに移しておき、必要なときにその情報確認を行うこともできる。

【0020】さらにこのシステムには、表示内容を高級化するために、テレビジョン等のモニタ400を接続して表示させることもできる。カタログショッピングを行う場合に、商品を次々と映し出して見ることも可能である。勿論、この場合はCD-ROMには、映像情報も格納されている。なお、電子出版媒体のアクセス手段としては、CD-ROMに限らず、磁気テープ、VTR一体型等の手段を用いても良い。

【0021】図2は、このシステムの動作の一例を示すフローチャートである。システムの電源がオンされると、電子出版媒体（CD-ROM）が装填されているかどうかの判定がなされ、装填されていればまず共通のヘッダの情報がシステム制御部201へ読み込まれる（ステップA1、A2、A3）。次にシステム制御部201は、ヘッダのバージョンデータと、内部のバックアップ付き記憶部に記憶しているバージョンデータとの比較を行い、一致するかどうかの判定を行う（ステップA4、A5）。一致した場合には、通常の処理に移行する（ステップA6）。この処理は、例えばユーザがメニュー画面上のタッチスイッチあるいはキーボードから商品ジャンル、価格、支払い形態を入力すると、その価格内の商品のサーチが開始される。1つあるいは2つの商品が検索され、かつ会計管理情報を用いてこのユーザが支払い可能であるかどうかを判定する。支払い不可能であれば、次の商品、価格データの検索を実行する。支払

い可能であれば、当該商品及び価格を表示する。ユーザは、表示されている商品を見て購入を行うか否かの最終決定を行う。また、このとき、使用するカードをカード読み取り部206へ挿入するように指示が表示される。購入を行わず、再実行を行う場合には再度、商品ジャンルからの入力を行うことができる。再実行を行わない場合には、プログラム処理が終了する。購入を決定した場合には、電話回線を通じて販売会社へ購入の意図が伝達される。この伝達は、ユーザの個人コード、商品番号、支払い形態（方法）等の情報伝達である。販売会社は、ユーザの個人コード、カード等の情報をチェックし、信頼が得られれば、商品の発送手続きを行うと共に、個人コード、商品番号等を用いて、自己の所有する管理装置により、クレジットカードによる引き落とし手続きや、プリペイドカードの残高更新処理等を行う。また、このとき、ユーザに対しては販売成立という旨の表示データを転送する。

【0022】さらに商品を購入する場合には、ステップA6の処理及び手続きが繰り返される。このときに、ディスクの交換があったかどうかの判定が行われる（ステップA7）。ディスクの交換は、ディスク交換検出手段による検出信号で判定され、この交換があった場合は、ステップA3に戻り、共通のヘッダー情報の読み出しから開始される。

【0023】ステップA5で、バージョンデータが異なることが判明した場合、ステップA8においてCD-ROMにおけるプログラムが更新されているかどうかの判定が行われる。CD-ROMに変更プログラムが書き込まれている場合は、これを読み出し、プログラムの更新部分を計算し、プログラムメモリのプログラム内容を更新し（ステップA10、A11）、さらにバージョン番号を書き換え（ステップA12）、ステップA6へ移行する。ステップA8にて、更新プログラムがCD-ROMに格納されていないことが判明した場合には、通信回線を自動的に販売会社のホスト制御部へ接続し、ホスト制御部へ更新プログラムを要求し、送られてくるプログラムを読み取る（ステップA13、A14）。

【0024】図3は、共通のヘッダー情報の例である。CD-ROMの論理アドレス0から記録されており、カタログ提供社情報がある。カタログ提供社情報には、カタログ提供社（コードNo）、カタログ提供社（表示のための文字コード）、カタログ製造年月日、カタログ有効期限のデータがある。またカタログ提供社の電話番号情報も記録されており、自動的に回線接続を行う場合に利用される。さらに料金支払い情報がある。料金支払い情報には、利用可能クレジット会社コード、分割払い可能情報等がある。さらにプログラム更新情報がある。プログラム更新情報としては、バージョン番号、更新プログラム存在フラッグ、更新プログラムアドレス及びサイズ、プレーヤ更新開始アドレス及びサイズ等がある。ま

たカタログ情報開始アドレスも存在する。CD-ROMがアクセス開始されると、バージョン番号が読み取られ、システム制御部201に格納されているこれまで利用したプログラムのバージョン番号と比較されることになる。CD-ROMのバージョン番号がそれまで使用していたものを上回っていた場合には、先に説明したように、プログラムの更新処理が行われる。

【0025】上記の説明では、プログラムデータの更新処理を行う場合を説明したが、処理データの内容の更新処理であっても同様な手順が用いられる。処理データの更新としては、バーゲンセール期間における価格データとその有効期間データ等である。

【0026】上記したように、CD-ROMの違い等により、プログラムデータの部分的な更新を得られる機能を備えることにより、一度、共通プログラムをプログラムメモリに格納した後は、部分的なプログラムの更新処理を行うだけで良い。このために、CD-ROM交換時にその都度、プログラムの全体的な読み取り及び書き換えを行う必要がなく、立上がり時間を短縮できる。さらに、新たなバージョンアップしたCD-ROM（カタログ）の販売が容易になり、ユーザ側の端末のハードウェア（プログラムメモリ）の交換が不要であり、融通性が向上する。

【0027】上記の説明では、販売会社のホスト制御部が、ユーザ側端末からの購入希望情報等をチェックして、販売成立と販売不成立を決定し、その結果をユーザ側端末へ伝送するとしている。

【0028】しかし、この結果を伝送するとともに、販売会社のホスト制御部からは、注文商品の納期期日、発送期日、配達期日の情報を伝送しても良い。ユーザ側端末は、これらの情報を受けとった場合、表示部に表示し、ユーザに対して再度の購入決定を待つようになっている。これは、例えば、商品の入手期日に限定がある場合（例えば、誕生日プレゼント、帰省客へのプレゼント等）、ユーザは遅れて商品を購入しても無駄な場合がある。そこで、このシステムでは、納期や発送期日の情報を表示部に表示して、ユーザの判断によりキャンセルも可能となっている。

【0029】図4は、システムの他の実施例の動作例を説明するために示したフローチャートである。CD-ROMに記録されている価格データ等に変化があると、購入を行うユーザ側では商品購入時に正確な予算管理を行えない。そこで、このシステムでは、商品決定時には新たな正確なデータを使用でき、正確な予算管理、正当な値段の商品の購入ができるようにしている。

【0030】CD-ROMが装填されると、システム制御部201は、CDのディスクIDを読み取る。一方、システム制御部201のデータ記憶部（バックアップ付き）には、カタログ販売会社のホスト制御部から送られたディスクIDが格納されている。この場合、このディ

スクに記述されている商品に関して、価格変動があった場合には、ディスクIDに変更データを加えている。従って、所有するディスクIDとデータ記憶部のディスクIDとを比較すれば、商品価格に変化があったのか否かの判断が可能である(ステップB1、B2、B3)。不一致の場合には、パーシャルRAMにデータ更新フラグを発生させ(ステップB5)、一致した場合には、CD-ROMの有効期限データをカレンダー情報と比較して期限切れであるかどうかを判定する(ステップB4)。期限切れの場合もデータ更新フラグを発生させる。ディスクIDが一致し、かつ有効期限内であれば、そのまま、通常処理(ステップB15)にジャンプしても良い。ディスクIDが不一致の場合、あるいは有効期限切れの場合には、ステップB6において、販売会社のホスト制御部との回線接続が行われ、ディスクIDとデータ更新フラグが伝送される。

【0031】販売会社のホスト制御部は、ディスクID等の情報を受信し、当該ディスクに記録されている商品に関して次にバーゲン情報が存在するか否かを判定する(ステップB8)。バーゲン情報がない場合には、データ更新フラグが伝送されてきているかどうかを判定する(ステップB10)。更新フラグがなければ、回線切断(ステップB14)が行われる。バーゲン情報が存在した場合には、バーゲン情報がユーザ側端末へ送出される(ステップB9)。データ更新フラグが存在した場合には、価格データに変更があるかどうかの判定がなされ(ステップB11)、変更があった場合には、最新価格データがユーザ側端末に送出され、またバーゲン情報が存在した場合には、価格データ及び有効期限データ、さらには当該商品コードの情報等が伝送される(ステップB12)。

【0032】販売会社のホスト制御部から伝送されてきたデータは、データ記憶部に保存され、回線が切断される(ステップB13、ステップB14)。以後は、先に説明したような、商品検索及び購入手続きが実行可能となる。商品購入手続きを行う場合、バーゲン情報処理モードを実行するようにモード指定が行われるようにしても良い。図5は、パーシャルRAM(データ記憶部)に格納されているディスクID、データ有効期限、更新商

品等の番号や価格データのフォーマットの例を示している。

【0033】上記のシステムでは、CD-ROMから読み取ったディスクIDを自己の記憶しているディスクIDと比較して、一致、不一致を判断している。しかし、CD-ROMから読み取ったディスクIDを、すぐに回線を通じて対応する販売会社のホスト制御部へ伝送し、ホスト制御部において現在有効なディスクのIDと比較することにより、ユーザが使用しているCD-ROMが最新のものの可否かを判定するようにしても良い。そして、古いCD-ROMであれば、追加すべき、あるいは修正すべきデータを、すぐにユーザ側端末へ伝送する方法でも良い。

【0034】

【発明の効果】以上説明したようにこの発明によれば、カタログの内容(価格、販売期間等)の修正が便利で、融通性があること、納品期日や入手期日を知ることが容易であること、発注者が利用するカードと販売会社を取り扱うカードとの種類の対比が確実であり注文ミスを生じないこと、加えて希望商品の確実で迅速なサーチが可能であり、カタログ媒体の保管、取り扱いが便利であること、ユーザの会計管理も可能であることを等を実現できる等多くの利点を備えている。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明のシステムの一実施例におけるユーザ側端末の構成説明図。

【図2】図1の端末のデータ処理手順の例を示すフローチャート。

【図3】図1のCD-ROMで利用される共通ヘッダーのフォーマットの例を示す説明図。

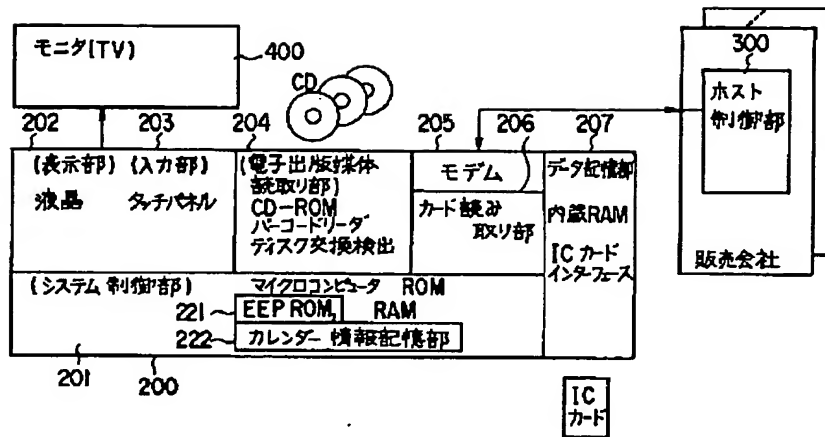
【図4】図1の端末のデータ処理手順のさらに他の実施例を示すフローチャート。

【図5】更新データのフォーマットの例を示す説明図。

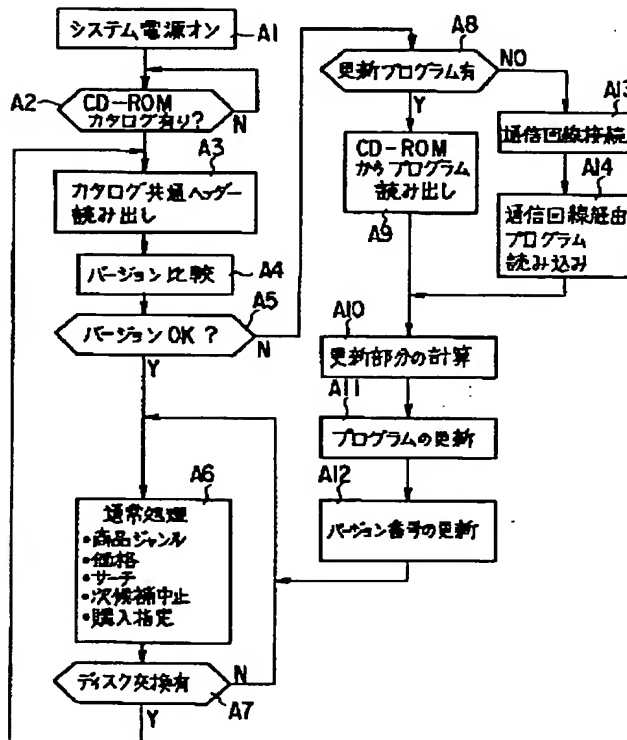
【符号の説明】

201…システム制御部、202…表示部、203…入力部、204…電子出版媒体読み取り部、205…モデム、206…カード読み取り部、207…データ記憶部、221…記憶部、222…カレンダー情報記憶部、300…ホスト制御部。

【図1】



【図2】

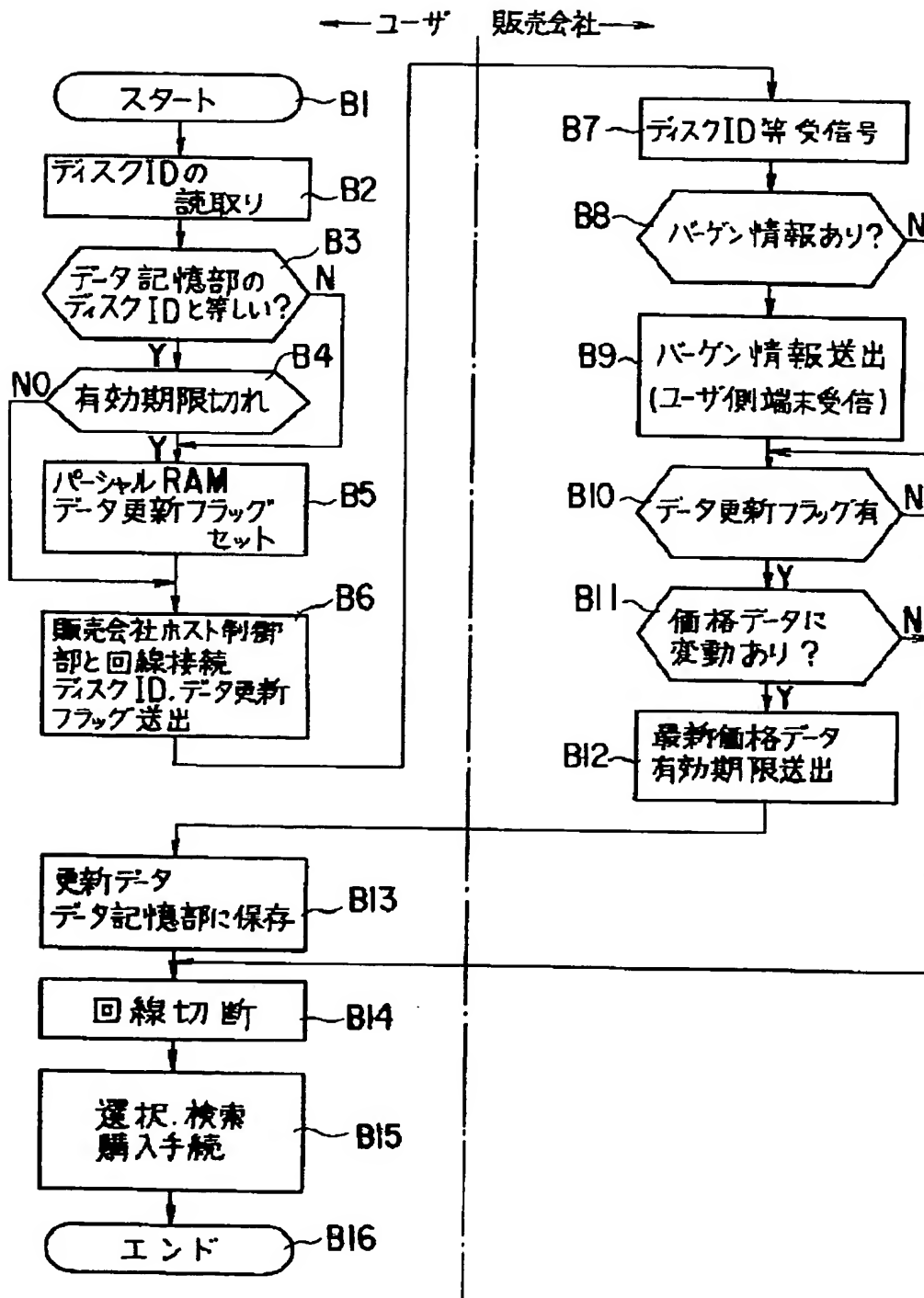


【図3】

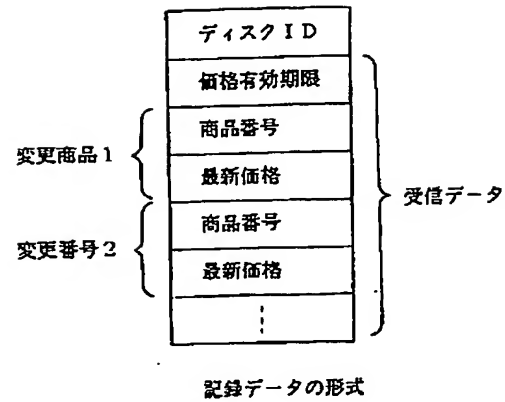
カタログ提供社情報	
カタログ提供社 (コードNo)	
カタログ提供社 (文字コード)	
カタログ製造年月日	
カタログ有効期限	
料金支払情報	
利用可能クレジット会社コード	
分割払い可能情報	
プログラム更新情報	
バージョン番号	
更新プログラム存在フラグ	
更新プログラムアドレス、サイズ	
プレーヤ更新開始アドレス、サイズ	
カタログ情報開始アドレス	

共通ヘッダー情報

【図 4】



【図 5】



フロントページの続き

(72)発明者 平林 正浩
東京都港区新橋3丁目3番9号 東芝エ
ー・ブイ・イー株式会社内

(72)発明者 平良 和彦
東京都港区新橋3丁目3番9号 東芝エ
ー・ブイ・イー株式会社内

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

☐ **BLACK BORDERS**

☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**

☐ **FADED TEXT OR DRAWING**

☒ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**

☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**

☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**

☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**

☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**

☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**

☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.